

令和7年度 児童発達支援事業所 自己評価表

事業所名 児童発達支援事業所四日市市立あけぼの学園

公表日 令和 8年 2月24日

	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点
		いい	え		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・利用定員上の基準は満たしています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・バリアフリーのため、段差はないです。また、分かりやすく、部屋の配置がされています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・使用後は清掃を実施し、快適な空間を保てるように心がけています。また、こどもの姿に応じて、環境を整えています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・会議や研修または職員間の情報交換にて、問題提起及び改善に努めています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・たくさんの意見を頂く中で、現在の事業所の状況に応じて、改善に努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・会議等の議題として、各職員が挙げて、検討しています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・毎年、第三者評価委員会を開催しています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・オンライン研修も増えたことから、各職種ごとの専門的な研修会の他にもあけぼの学園として職員の研修会が開催され、様々な研修参加の機会があります。	
11 適切に支援プログラムが作成、公表しているか。	<input type="radio"/>		・ホームページに掲載しています。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・支援会議にて、他職種の支援員が参加し取り組んでいます。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・標準化された検査を用いた評価法、アセスメントや行動観察を中心とした評価法を利用して、こどもの状態を把握し、支援に活かしています。	

	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・各職種の専門性に沿って立案し、支援を行っていますが、職種ごとにあるいは多職種で検討する機会を持つようになっています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・お子さんの成長発達や興味関心に応じて、プログラムを工夫しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・出来るだけ参画しています。
	22	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じ連携をとっています。
	23	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じ連携をとっています。
	24	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じ連携をとっています。
	25	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・児童発達支援センターと連携を図っています。
	26	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・支援のたびに、保護者に丁寧に聴き取りをしたり情報交換をしています。
	27	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・プログラムとしては実施していませんが、保護者支援の充実には継続して努めています。
保護者への説明	28	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明をしています。
	29	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	30	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・支援の際やその他随時、保護者の相談に対応をしています。
	32	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		

寺	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・個別支援のため、活動概要や行事予定を知らせるような定期的な通信を発行してはませんが、ホームページを更新し、事業所の案内等を掲載しています。	・個人情報保護の観点はありませんが、情報の発信を増やしているように努めます。
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・個別支援のため、行事等は行っていないですが、あけぼの学園としては、行事を開催したり、地域の行事に参加しています。	
非常時等の対応	37	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・職員は避難訓練、防犯訓練などを実施しています。また、保護者には、契約の際に周知するようにしています。	
	38	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・職員は火災地震等を想定した避難訓練を行っています。	
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に聴き取りを行い、緊急時の対応について対応票を作成、職員間で共有できるようにしています。	
	40	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・食事の提供はありませんが、アレルギーについての聴き取りを行い、緊急時の対応を確認、職員間で共有できるようにしています。	
	41	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	42	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を開催し、研修会も行っています。	
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束などの適正化のための指針を作成、掲示し、周知に努めています。	